

令和 XX 年度 卒業論文

エンタープライズ無線 LAN 環境における通信品質
改善のためのユーザ行動支援手法

電気通信大学 情報理工学域

I類 コンピュータサイエンスプログラム

学籍番号 2210182

氏名 上川雅弘

指導教員 矢俊志

令和 XX 年 X 月 XX 日

概要

本論文では、【研究テーマ】に関する研究について述べる。【背景と課題を簡潔に記述】
本研究では、【提案手法・システムの概要】を提案する。【実験・評価の概要】の結果、【主要な成果】が確認できた。

目次

1 はじめに	3
1.1 研究の背景	3
1.2 研究の目的	3
1.3 本論文の構成	3
2 背景知識	4
2.1 【技術・概念 1】	4
2.2 【技術・概念 2】	4
2.3 【技術・概念 3】	4
3 提案手法	5
3.1 提案手法の概要	5
3.2 システム設計	5
3.3 実装	5
4 評価	6
4.1 評価環境	6
4.2 評価方法	6
4.3 評価結果	6
4.4 考察	6
5 おわりに	7
5.1 まとめ	7
5.2 今後の課題	7
謝辞	8
参考文献	9
A 付録	10

1 はじめに

1.1 研究の背景

【研究の背景について記述】

1.2 研究の目的

【研究の目的について記述】

1.3 本論文の構成

本論文の構成を以下に示す。第2章では、本研究に関連する背景知識について述べる。第3章では、提案手法・システムについて述べる。第4章では、評価実験について述べる。第5章で本論文をまとめる。

2 背景知識

2.1 【技術・概念 1】

【技術や概念に関する説明】

2.2 【技術・概念 2】

【技術や概念に関する説明】

2.3 【技術・概念 3】

【技術や概念に関する説明】

3 提案手法

3.1 提案手法の概要

【提案手法の概要を記述】

3.2 システム設計

【システムの設計について記述】

3.3 実装

【実装の詳細について記述】

4 評価

4.1 評価環境

【評価環境について記述】

4.2 評価方法

【評価方法について記述】

4.3 評価結果

【評価結果について記述】

4.4 考察

【評価結果に対する考察を記述】

5 おわりに

5.1 まとめ

本研究では,【研究内容の要約】について述べた.

5.2 今後の課題

今後の課題として,【今後の課題や展望】が挙げられる.

謝辞

本研究を進めるにあたり、研究テーマや方針について多大なるご指導を賜りました矢俊志先生に心より感謝申し上げます。また、日頃より支えてくださった家族に対しても、ここに感謝の意を表します。

参考文献

A 付録

【必要に応じて付録を記述】